

一般社団法人 感染症対策コミュニケーションラボ とは

新型コロナウイルスをはじめとする、感染症に関する基本的な知識と考え方を、一般の方々に分かりやすく広めようと設立された団体です。

これまで、企業や医療機関における危機管理コミュニケーションの現場に携わる傍ら、政府や自治体、大学や研究機関に対し、感染症リスク・クライシスコミュニケーションの支援や啓発に努めてきた田崎陽典氏が代表。

新型コロナ対策では、厚生労働省新型コロナウイルスクラスター対策班の広報活動を支援しました。

<http://www.cpid-lab.org/>



事業趣旨

「何をしなければならないか」から「どうしてするのか」へ

「三密を避ける」「STAY HOME」など新しい用語が広がり、手指の消毒やマスクの着用など、新たな生活様式が定着しています。しかし、本当に大切なのは、何をしなければならないかではなく、どうしてするのかを理解し、どのようにすればよいかを、一人ひとりが工夫できるようになることです。

感染症対策コミュニケーションラボでは、どうするのかをみんなで知ること、より効果的かつスマートな感染症対策を進められる社会づくりに取り組んでいます。

アドバイザー

技術アドバイザーとして、公衆衛生学を専門とする、国際医療福祉大学医学部 和田耕治教授を迎え、正確な情報発信に努めます。

事業内容

◆ セミナー・シンポジウム・啓発活動

- 感染症対策に関する市民講座や啓発活動の実施、教育教材の開発
- 企業向け従業員教育研修: 感染症拡大下での接客の他、営業活動から店舗づくりまで対象や目的に応じて、各種セミナー等のアレンジが可能です。

◆ 感染症検定

感染症対策に関する実践的な検定試験の開発を行っています。検定試験は、研修と併せて従業員教育にもご活用いただけます。営業担当や顧客窓口担当の方、飲食店管理者や従業員の方にお勧めです。

◆ 感染症対策コンサルティングの実施

組織内での感染症予防・拡大防止の呼びかけ、万が一の患者発生時における社内コミュニケーションから、感染症危機等のBCP策定、感染症対策下における業務遂行施策まで、マーケティング活動、コミュニケーション活動の策定を行います。